

## 窓口支援事例 【三重県 知財総合支援窓口】 平成 29 年度版

### 企業情報

有限会社コットンライフ

|           |                            |     |       |
|-----------|----------------------------|-----|-------|
| 所在地       | 三重県松阪市                     |     |       |
| ホームページURL | http://matsusakamomen.com/ |     |       |
| 設立年       | 1988年                      | 業種  | 卸・小売業 |
| 従業員数      | 4人                         | 資本金 | 320万円 |

### 企業概要

当社は、三重県松阪市の伝統産業である「松阪木綿」を守ろうという強い思いのもとに設立され、「松阪もめん手織りセンター」として商品開発販売と手織り技能者の育成を行っています。

当社の松阪木綿製品の品揃えは全国でもトップとなっています。

写真：機織体験



### 自社の強み

「松阪もめん」とは、天然藍の先染め糸を使い、「松阪嶋（まつさかじま）」と呼ばれる縞模様が特徴の松阪地域で生産される綿織物です。弊社は、松阪もめんの専門店です。中でも他には無い手織り反物の品揃えは全国でトップクラスとなっています。

近年では「MADE IN 松阪」商品の取り組みとして、松阪産オーガニックコットンを使用した新しい商品づくりに、地域の生産者と共に取り組んでいます。2022年開催のコットンサミットin松阪では、松阪産オーガニックコットンを使用した手織り生地を製作し展示販売を行い、新たな松阪もめんの魅力の発信をしています。

写真：手織り反物



### 一押し商品

当社の一押し商品は、松阪木綿を使用した各種製品です。

いずれの商品も、松阪木綿の藍染による味わいのある藍をベースとした素材を活かした商品で、飽きがこないで長く使って頂くことができます。



写真左：紳士用ネクタイ、右：婦人用ワンピース

## 知財総合支援窓口活用のポイント

### 窓口活用のきっかけ

公益財団法人三重県産業支援センターの助成金交付内定者説明会において、知的財産への配慮の必要性を説明したのをきっかけに同社を訪問し、ヒヤリングをさせていただいたところ、名古屋モード学園と産学連携による商品開発を始めようとしていることが分かりました。他者との協業においては、契約の段階でお互いの目的や役割を十分に確認することが重要であり、協業に関する契約初について支援しました。

### 最初の相談概要

当初示された協業に関する契約書案は、名古屋モード学園によって従来から使われていた標準的な内容のものでしたが、長くにわたり良好な関係を維持しながら協業するためには、双方の考えを十分に確認し合うことが必要と考え、できる限り公平な内容となる契約書案を同社と共に煮詰め、名古屋モード学園側に提案することとしました。

### その後の相談概要

数回にわたり相談者と支援担当で意見交換し、案文を取りまとめた内容を名古屋モード学園側に提示し、大きな修正点もなく、了解を得ることができました。

同学園との共同開発は契約文書の準備と並行して進められ、締結前から意見交換したことで役割分担や納期意識が高まっており、予定通りの日程で完了しました。

開発成果は松阪市内で開かれた「松阪もめんフェスティバル」で発表され、画期的な取り組みとして大きく報道されました。この成功により、次年度以降も協業は継続されることとなり、街着として使えるような「野良着」や小物類の開発にも取り組まれています。また、開発製品は名古屋市内のファッションビルや老舗百貨店で発表・販売の機会も検討されています。

### 窓口を活用して変わったところ

協業相手との契約内容を突き詰めたことで、役割・責任分担が明確になったと共に、目標が明確になり、計画の遂行にメリハリができ、効率的に業務が進捗しているように感じられます。同社の経営体質強化が一步前進したと考えます。

### これから窓口を活用する企業へのメッセージ

専門家の目を通して事業の進め方について助言して頂いたことで、目先のことに追われて、大切なことを後回しにしていたことが沢山あることに気付かされました。窓口においては、特許や商標の出願だけではなく、幅広く助言して頂けるので、遠慮なくご相談されることをお勧めします。

### 窓口担当者から一言（氏名：村上 一仁）



若い力を活かして伝統産業を復活させたい、という強い情熱を感じながら助言させていただきました。助言に対してはその意味をしっかりと理解しようとされ、納得して着実に実行するという姿勢が見られ、結果として協業パートナーとの信頼関係が構築でき、次の年度の活動に繋がったものと考えます。

## 窓口支援事例 【三重県 知財総合支援窓口】 平成29年度版

### 企業情報

有限会社コットンライフ

|           |                            |     |       |
|-----------|----------------------------|-----|-------|
| 所在地       | 三重県松阪市                     |     |       |
| ホームページURL | http://matsusakamomen.com/ |     |       |
| 設立年       | 1988年                      | 業種  | 卸・小売業 |
| 従業員数      | 4人                         | 資本金 | 320万円 |

### 企業概要

当社は、三重県松阪市の伝統産業である「松阪木綿」を守ろうという強い思いのもとに設立され、「松阪もめん手織りセンター」として商品開発販売と手織り技能者の育成を行っています。

当社の松阪木綿製品の品揃えは全国でもトップとなっています。



### 自社の強み

松阪木綿は、元となる糸を藍染してから織る先染め糸を採用しています。これにより、糸が丈夫になり、織り布は柔らかさを保ちながらも強さが増し、いつまでも鮮やかな風合いを楽しんで頂けます。平成9年には「松阪もめん」を商標登録しブランディングに努めています。

松阪木綿には素材の良さに加え、江戸時代から松坂縞として人気を博した独特の模様があります。近年では同手織りセンターでの機織り技能者の育成に伴い、若い技術者たちによる斬新な模様も生み出されています。

また、名古屋モード学園との産学連携の取組みで、松阪木綿の特質、伝統的デザインの文様と若い人たちの感性を活かしたバッグ、小物、街着などの製品群が生まれつつあります。



### 一押し商品

当社の一押し商品は、松阪木綿を使用した各種製品です。

いずれの商品も、松阪木綿の藍染による味わいのある藍をベースとした素材を活かした商品で、飽きがこないで長く使って頂くことができます。

左上：パールックシャツ、右上：トートバッグ、  
左下：名古屋モード学園学生デザインのTシャツ、右下：ネクタイ



### 知財総合支援窓口活用のポイント

#### 窓口活用のきっかけ

公益財団法人三重県産業支援センターの助成金交付内定者説明会において、知的財産への配慮の必要性を説明したのをきっかけに同社を訪問し、ヒヤリングをさせていただいたところ、名古屋モード学園と産学連携による商品開発を始めようとしていることが分かりました。他者との協業においては、契約の段階でお互いの目的や役割を十分に確認することが重要であり、協業に関する契約初について支援しました。

#### 最初の相談概要

当初示された協業に関する契約書案は、名古屋モード学園によって従来から使われていた標準的な内容のものでしたが、長くにわたり良好な関係を維持しながら協業するためには、双方の考えを十分に確認し合うことが必要と考え、できる限り公平な内容となる契約書案を同社と共に煮詰め、名古屋モード学園側に提案することとしました。

#### その後の相談概要

数回にわたり相談者と支援担当で意見交換し、案文を取りまとめた内容を名古屋モード学園側に提示し、大きな修正点もなく、了解を得ることができました。

同学園との共同開発は契約文書の準備と並行して進められ、締結前から意見交換したことで役割分担や納期意識が高まっており、予定通りの日程で完了しました。

開発成果は松阪市内で開かれた「松阪もめんフェスティバル」で発表され、画期的な取り組みとして大きく報道されました。この成功により、次年度以降も協業は継続されることとなり、街着として使えるような「野良着」や小物類の開発にも取り組まれています。また、開発製品は名古屋市内のファッションビルや老舗百貨店で発表・販売の機会も検討されています。

#### 窓口を活用して変わったところ

協業相手との契約内容を突き詰めたことで、役割・責任分担が明確になったと共に、目標が明確になり、計画の遂行にメリハリができ、効率的に業務が進捗しているように感じられます。同社の経営体質強化が一步前進したと考えます。

#### これから窓口を活用する企業へのメッセージ

専門家の目を通して事業の進め方について助言して頂いたことで、目先のことに追われて、大切なことを後回しにしていたことが沢山あることに気付かされました。窓口においては、特許や商標の出願だけではなく、幅広く助言して頂けるので、遠慮なくご相談されることをお勧めします。

#### 窓口担当者から一言（氏名：村上 一仁）



若い力を活かして伝統産業を復活させたい、という強い情熱を感じながら助言させて頂きました。助言に対してはその意味をしっかりと理解しようとされ、納得して着実に実行するという姿勢が見られ、結果として協業パートナーとの信頼関係が構築でき、次の年度の活動に繋がったものと考えます。

## 窓口支援事例 【三重県 知財総合支援窓口】 平成 29 年度版

### 企業情報

有限会社コットンライフ

|           |                            |     |       |
|-----------|----------------------------|-----|-------|
| 所在地       | 三重県松阪市                     |     |       |
| ホームページURL | http://matsusakamomen.com/ |     |       |
| 設立年       | 1988年                      | 業種  | 卸・小売業 |
| 従業員数      | 4人                         | 資本金 | 320万円 |

### 企業概要

当社は、三重県松阪市の伝統産業である「松坂木綿」を守ろうという強い思いのもとに設立され、「松坂もめん手織りセンター」として手織り技能者の育成と商品開発販売を行っています。

当社の松坂木綿製品の品揃えは全国でもトップとなっています。



### 自社の強み

松坂木綿は、元となる糸を藍染してから織る先染め糸を採用しています。これにより、糸が丈夫になり、織り布は柔らかさを保ちながらも強さが増し、いつまでも鮮やかな風合いを楽しんで頂けます。

松坂木綿には素材の良さに加え、江戸時代から松坂縞として人気を博した独特の模様があります。近年では同手織りセンターでの機織り技能者の育成に伴い、若い技術者たちによる斬新な模様も生み出されています。

また、名古屋モード学園との産学連携の取組みで、松坂木綿の特質、伝統的デザインの文様と若い人たちの感性を活かしたバッグ、小物、街着などの製品群が生まれつつあります。



### 一押し商品

当社の一押し商品は、松坂木綿を使用した各種製品です。

いずれの商品も、松坂木綿の藍染による味わいのある青をベースとした素材を活かした商品で、飽きがこないで長く使って頂くことができます。

左上：パールックシャツ、右上：トートバッグ、  
左下：名古屋モード学園学生デザインのTシャツ、右下：ネクタイ



## 知財総合支援窓口活用のポイント

### 窓口活用のきっかけ

公益財団法人三重県産業支援センターの助成金交付内定者説明会において、知的財産への配慮の必要性を説明したのをきっかけに同社を訪問し、ヒヤリングをさせていただいたところ、名古屋モード学園と産学連携による商品開発を始めようとしていることが分かりました。他者との協業においては、契約の段階でお互いの目的や役割を十分に確認することが重要であり、協業に関する契約初について支援しました。

### 最初の相談概要

当初示された協業に関する契約書案は、名古屋モード学園によって従来から使われていた標準的な内容のものでしたが、長くにわたり良好な関係を維持しながら協業するためには、双方の考えを十分に確認し合うことが必要と考え、できる限り公平な内容となる契約書案を同社と共に煮詰め、名古屋モード学園側に提案することとしました。

### その後の相談概要

数回にわたり相談者と支援担当で意見交換し、案文を取りまとめた内容を名古屋モード学園側に提示し、大きな修正点もなく、了解を得ることができました。

同学園との共同開発は契約文書の準備と並行して進められ、締結前から意見交換したことで役割分担や納期意識が高まっており、予定通りの日程で完了しました。

開発成果は松阪市内で開かれた「松坂もめんフェスティバル」で発表され、画期的な取り組みとして大きく報道されました。この成功により、次年度以降も協業は継続されることとなり、街着として使えるような「野良着」や小物類の開発にも取り組まれています。また、開発製品は名古屋市内のファッションビルや老舗百貨店で発表・販売の機会も検討されています。

### 窓口を活用して変わったところ

協業相手との契約内容を突き詰めたことで、役割・責任分担が明確になったと共に、目標が明確になり、計画の遂行にメリハリができ、効率的に業務が進捗しているように感じられます。同社の経営体質強化が一步前進したと考えます。

### これから窓口を活用する企業へのメッセージ

専門家の目を通して事業の進め方について助言して頂いたことで、目先のことに追われて、大切なことを後回しにしていたことが沢山あることに気付かされました。窓口においては、特許や商標の出願だけではなく、幅広く助言して頂けるので、遠慮なくご相談されることをお勧めします。

### 窓口担当者から一言（氏名：村上 一仁）



若い力を活かして伝統産業を復活させたい、という強い情熱を感じながら助言させて頂きました。助言に対してはその意味をしっかりと理解しようとされ、納得して着実に実行するという姿勢が見られ、結果として協業パートナーとの信頼関係が構築でき、次の年度の活動に繋がったものと考えます。